

タイ旅行記（2023年）

君島直樹

皆様、こんにちは。

私は1978年4月に入社（当時の東京鐵骨橋梁製作所）し、総務人事関係、購買・調達関係、橋梁営業関係で42年間勤務させていただき、2021年1月に卒業致しました君島直樹です。

今年3月、3年4ヶ月振りに東南アジアのタイに行ってきたので、『タイ旅行記』を投稿させて戴きます。

【1】3月15日（水）出国

朝7時過ぎに羽田空港第3ターミナル（国際線）に到着し、ANA ビジネスカウンターでスーツケース&キャディーバッグを預けチェックイン手続き。

今回は期限切れを迎えるマイレージを使い、往路はビジネス（C）クラス、復路はエコノミー（Y）クラスの特典航空券を利用しました。

手続き完了後、保安検査場を通過しいよいよ出国手続きです。

今は簡略化され、パスポートを機械に読み込ませ、顔写真を撮ればOKです。パスポート出国スタンプが必要な方は有人カウンターで押印して貰えます。

出国手続き完了後、搭乗開始時間までANA ビジネスラウンジへ行き、朝食（カレーライス&天ぷらうどん）を食べながらゆっくり過ごしました。

当然、ビールも飲みました。



今回の飛行機は午前 11:00 発の NH847 便で、バスラウンジからの搭乗でした。バンコクまで約6時間30分のフライトです。





今回利用したビジネスクラスの食事

【2】3月15日（木）バンコク

タイ時間（日本と2時間の時差）の16:15に、タイバンコクのスワンナプーム国際空港に到着。

以前は入国審査に時間が掛かりましたが、今回はパスポートのチェックと指紋と顔写真の機械登録でスムーズに入国出来ました。

預けてあったスーツケースとキャディーバッグを受取り、事前に予約しておいた車でバンコク市内のホテルへ向かいました。

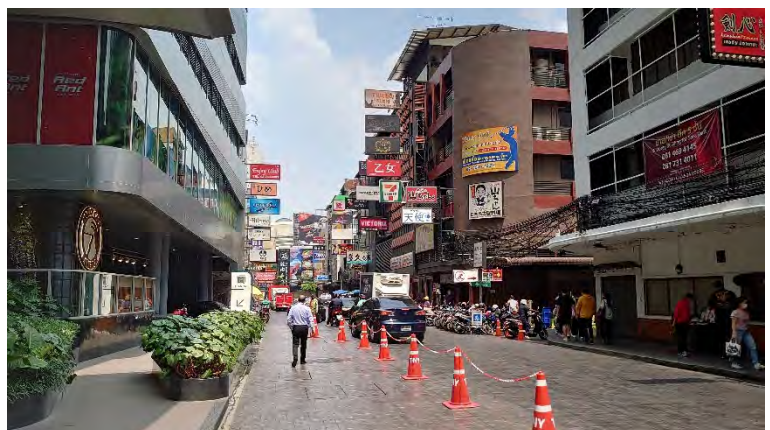
途中高速道路で渋滞に遭いましたが約1時間でホテルに到着。

このホテルはバンコク市内で訪タイ時に常宿にしているところで、欧米人が多く滞在しています。

夜は4年振りに逢う日本人（タイ駐在）の方とタイ料理を食べながら懇親を深めました。

【3】3月16日（金）バンコク

ホテルで朝食後、朝から30℃超えの気温で暑い中、バンコクで毎回利用している換金率の良い事で知られている『タニヤスピリット』と言う両替所へ（名前の通り酒屋と兼業）。日本円で250,000円（3名分の共通経費）を両替する予定でしたが、何と両替所が休み。酒屋に居た人に何とか両替をお願いしたところ、中



昼間のタニヤ通り、夜には歓楽街に変身

に入れてくれ110,000円だけタイバーツに両替してくれました。

両替所の休みの理由が何とバーツの現金が無くなったとの事。

私以外にも何人かの日本人が両替に来ましたが、すべて断っていました。

両替出来たパーツで、メールで注文しておいた洋ラン BOX（洋ランの切花が 30 本～40 本入った箱）の支払いに行きましたが、今度は身分を証明するパスポート又は免許証を持参していなかった為にビルの中に入れず、（以前は自由にビルに出入り出来たのですが）ホテルにパスポートを取りに行く事になってしまいました。

暑い中ホテルに戻り、パスポートを持って再度洋ラン業者が入るビルへ行き、今度は無事に入館出来、注文した洋ラン BOX のホテルへの配達日を確認後、支払いも完了しました。

その後残りの 140,000 円を別の両替所にてタイパーツに両替。

この日は暑い中、13,000 歩も歩きました。

【4】3月17日（金）バンコク～パタヤ～シラチャ

早朝の 4:50 にバンコクのホテルをチェックアウトし、遅れてタイに来る 2 名のメンバーと合流する為、バンコクのスワンナプーム国際空港に向かい、6:00 に無事に合流しチャーターした車でパタヤに向かいました。

パタヤでは以下の観光地を巡りました。

① サンクチュアリー・オブ・トゥルース

ラチャベート岬の先端に佇む木造建築の建物。

着工後 30 年ですが、東洋のサクラダファミリアと呼ばれ現在も建築が続いています。





② パタヤ・ヒル
パタヤ市内が一望出来る丘公園。



③ ワット・プラヤイ

高さ約 12m の黄金に輝く大仏が鎮座する仏教寺院。



④ ワット・カオシーチャン

プミポン前国王在位50周年を記念し、1996年に巨大な岩に彫られた大仏壁画で高さは約130m。



パタヤ観光後、宿泊地のシラチャに向かいました。

シラチャは郊外に日本企業の工場が多く在るとの事で、日本人駐在員が多く住む街です。飲食店も日本の居酒屋等が多く在り、我々も夕食で利用しました。

【5】3月18日(土) シラチャ

ホテルを7:00に出発し、タイでも有名な『サイアムカントリー・ペンテーション』ゴルフコースでIRプレーしました。

タイのゴルフで良いのは1人に1台のカート&キャディーが付き、ゴルフ場に依ってはフェアウェイまでカートが乗り入れられる事。

プレー費はハイシーズンの土曜日と言う事で、ホテルからの往復送迎+プレー費+カート台+キャディー費+チップ等で一人約6,500バーツ(日本円で26,000円)掛かりました。

ホテルに戻り一休みした後、タイ古式マッサージを受けに街に出かけました。

料金は2時間で600バーツ(日本円で2,400円)でした。

以前は300~350バーツでしたのでかなりの値上がりです。

マッサージ終了後、この日の夕食も日本の居酒屋で済ませました。

【6】3月19日(日) シラチャ~バンコク

ホテルを10:00に出発し、チャーターカーでバンコクに向かい約3時間でホテルに到着。(私が3月15日・16日に宿泊したホテル) ホテルにチェックイン後、お土産を買いがてらタニヤスピリットに行き

日本円をバーツに換金。

夕食は北海道料理のお店で人気のカルボナーラを食べました。

丁度WBC日本代表のヌートバー選手が流行らせたペッパーミルを自分で使う事が出来ました。



フライパンで炒めたパスタを円形のチーズの中へ



ペッパーミル

【7】3月20日（月）バンコク

ホテルを7:00に出発し、『パインハーストゴルフ&カントリークラブ』ゴルフコースに向かい、1人1台のカート&キャディーが付きで1Rプレーしました。

この日のプレー費は、ホテルからの往復送迎+プレー費+カート代+キャディー費+キャディーチップ等で約4,000バーツ（日本円で16,000円）でした。



キャディーさんと記念撮影

ゴルフ終了後ホテルに戻り、夕食前にタイ古式マッサージに行き、今回も2時間のマッサージを受けました。

この日の夕食はミシュランガイドにも掲載されているシーフードレストラン『ソンプーン』で名物料理のプーパッポンカレー（蟹カレー）他を食しました。



【8】3月21日（火）バンコク

今日はタイ旅行の最終日でホテルを 7:00 に出発し、チャーターカーで以下の場所を観光。

① ワット・パクナム・パーシーチャルーン

ワット・パクナムは王室の寺院。

パーシーチャルーン仏塔は故プミポン国王と王妃の 72 歳誕生日のお祝いとして 2012 年に完成したとの事。

仏塔の 2 階には故プミポン国王（ラーマ 9 世）の肖像画が飾られています。3 階には仏像などが収集された美術館になっています。

4 階にはワット・パクナムの僧侶プラマハー・ラッチャマンカラージャーン僧の金製仏像が置かれています。

5 階にはエメラルドグリーンに輝く天井画に仏塔が在り、宗教的宇宙が描かれています。



入口で靴を脱いで仏塔の中へ



5階に在るエメラルドグリーンに輝く仏塔



巨大な大仏像は王室に敬意を表して 2016 年 6 月に造られています

② メークロン市場（傘を畳む市場）

バンコクから約 70km 離れたサムットソンクラーム県にある市場。

メークロン市場は、お店が線路の両脇にひしめき合う様にずらりと並んでいて、電車が近づいた時に鳴る警笛を合図にして一斉に商品や傘が片付けられる様子は、見ているだけで楽しくなります。



電車が通る前の市場



電車が通る合図の警笛が鳴り商品が線路際から離され、傘やテントが畳まれています。以上で観光が終わり、ホテルに戻り帰国準備に入りました。

【9】3月21日（火）バンコク～東京

帰国の為、ホテルを18:20に出発し、チャーターカーでバンコクスワンナプーム国際空港に向かい19:00に到着。

出発フロアの各航空会社のカウンターは多くの人が並んでいました。

私自身 ANA のスーパーフライヤーズゴールド会員の資格を有しているのので、復路のエコノミークラス（Y）でもビジネスクラスチェックインカウンターで手続きを行い、預ける荷物も3個（スーツケース、キャディーバック、洋ランBOX6箱）依頼しました。

但しタイの場合は、各航空会社のカウンターで依頼した荷物の内、スーツケース以外は別の場所に持参し、X線検査を受けて初めて預けられます。

今回はキャディーバックと洋ランBOXが対象となりました。

その後出国の為保安検査場へ。タイの検査は厳しく、手荷物+ベルト類+靴のX線検査、自身のX線検査等、結構時間が掛かります。

そしてイミグレーションでパスポートチェック、指紋と顔写真を機械で照合して出国完了。



後は、搭乗時間まで航空会社のラウンジでゆっくりタイのシーハービールを飲みながら夕食を摂りました。

バンコク発 22:50 の NH850 便に搭乗（ほぼ満席）

【10】3月22日（水）東京羽田

朝の6:30に東京羽田空港に到着。

日本を出発する前にスマホに Visit Japan Web を登録していたので、羽田空港に到着後、検疫検査はスマホ画面を見せるだけで通過し、イミグレーションでパスポートと顔写真を機会に照合すれば入国完了。有人カウンターで入国スタンプを貰いました。

その後、預けた荷物（スーツケース、キャディーバック、洋ランBOX）を受取り、私

の場合は洋ランを持ち込む為、植物検査カウンターでタイ生産者の出荷証明書を添付して全ての洋ラン（1箱40本×6箱）を1本ずつにわけて検査を受け、検査済の印を受けた後税関検査に向かいました。

税関検査も事前に Visit Japan Web に中の税関に関する事項を登録していましたが、機械にパスポートと Visit Japan Web の画面を読み込ませて税関カウンターに向かいました。

そこで税関職員に信じられない言葉を掛けられました。

タイから持ち込んだ洋ランはワシントン条約で禁止になっている品だと。

私は先程、植物カウンターで出荷証明書を提出し全て検疫検査を受けて来た事を言うと、検疫と税関は別だと言われました。

納得が行かないので、別の検査官を呼んで貰い話をしたところ、この花は持ち込み OK との一言で片づけられました。税関職員はもう少し勉強して欲しいですね。

こうして私の7泊8日（機中1泊含む）のタイ旅行も終わりました。

—了—